

第4回花巻市行政評価委員会会議録

1 開催日時

- (1) くらし部会 平成24年11月9日(金) 午前9時30分～午前11時30分
- (2) しごと部会 平成24年11月9日(金) 午後2時30分～午後4時30分

2 開催場所

- (1) くらし部会 花巻市花城町1-47 まなび学園 3階 第5学習室
- (2) しごと部会 花巻市花城町1-47 まなび学園 3階 第3学習室

3 出席者

- (1) くらし部会
委員 4名
木村部会長、伊藤(成)委員、永井委員、高橋(勝)委員
事務局、施策及び事務事業担当課
- (2) しごと部会
委員 3名
影山部会長、伊藤(純)委員、高橋(セ)委員
事務局、施策及び事務事業担当課

4 議題及び報告事項

評価対象の施策及び事務事業の評価を行った。

- (1) くらし部会
意見集約

- (2) しごと部会

○施策：まちぐるみ観光推進事業

【主な意見】

- ・イーハトーブおもてなし支援、同心屋敷活用、まちなかビジターセンター管理運営は、観光ボランティアガイドと大きく関わる事業であり、ガイドの人数を成果指標としているのは良い。また、交流会館でイベントを行なっているので、そこにどの位の人が来ているのかという成果指標も妥当である。
- ・観光情報をスマートフォンで入手する人が増加しており、そういったものに何人がアクセスしたかを成果指標としてはどうか。また、ユーチューブに観光情報をアップして、何人がアクセスしかたというものも良いのではないか。そうすればただで観光情報を発信できるのではないか。
- ・交流会館でのイベントを拠点として市内商店街にも来ていただくということを考

えると、そういったイベントに出店する市内店舗がどの位増えていっているのかなども成果指標として良いのではないかと。

- ・宮沢賢治に興味のある人などはブログを作成している方もいると思うが、そういった方との繋がりを持ってはどうか。以前、東和町ではサイバー町民を募集して、東和町の物産品を安く売ったりしていた。
- ・市内にインターネットで注文出来る店舗がどれくらいあるのかを成果指標とすることも良いのではないかと。また、せっかくBBフェアに出店しているのだから、インターネットでも注文できることをPRすれば、さらに有効なイベントになる。
- ・交流会館で何回イベントを行い来場者が何万人ということが、成果なのかは疑問である。
- ・ボランティアガイドの後継者育成や組織化が必要であるとのことであるが、情報関係の高校生や大学生にスマートフォン用の店舗情報を作ってもらうなど、若い人に地元の事を知ってもらうことも必要ではないかと。ボランティアガイドの後継者の育成にも関わってくる。
- ・ボランティアガイドが出動した回数や要請回数を成果指標としてはどうか。人数が多くても、実際活動している方は少ないと思われる。
- ・花巻検定の受験者数も成果指標として良いのではないかと。
- ・参考資料に記載されている入館者数も成果指標としても良いのではないかと。入館者数に波があり目標を立てるのが難しいのであれば、実績だけでも記載してもらえれば、評価しやすくなる。
- ・補助事業の実績をマネジメントシートへ記載してはどうか。

○事務事業：商店街活性化事業（再ヒアリング）

【主な意見】

- ・客観的な指標としての集客数の把握が難しいことは理解できる。
- ・出店者の店舗と住居が別々になっているのであれば、そこを何とかする方策も考えて事業展開をしてはどうか。
- ・集客数の把握は難しいだろうけど、それをイベント主催者が意識するのかが大事である。何を行なったから客が多く来たとかという結果に着目したほうが良い。
- ・主催者が目標を持つことが大事である。イベントを行なうこと、それに助成することは良い事なので、その結果をシートに付け加えることも検討してほしい。

○事務事業：商店街魅力創出事業（再ヒアリング）

【主な意見】

- ・共同施設補修支援については、新しいLEDの設置や太陽光発電を使ったまちの案内版の設置などを分けて成果指標に出来るのではないかと。
- ・賑わいのあるまちとはどういうものであるかというビジョンや施策がない。現状

に対する取り組みを行なっているのがほとんどである。もっと大きな施策（視点）があるべきで、その中で取り組むべきである。

- ・福祉施設や図書館など、まちの中に人が来るきっかけになるものが必要である。

○事務事業：企業活動総合支援事業（再ヒアリング）

【主な意見】

- ・こういう良い制度を使うか迷っている企業には、事例を紹介していくと良いのではないか。HPの作成も行ってくれるのであれば活用したい企業も多いのではないか。
- ・加工食品企業の割合が大きいので、6次産業化を進める事業が良いのではないか。
- ・花巻農業高校や花北青雲高校と連携して農産物を使った食品やお菓子の開発を行なうことも良い。市が企業と高校をつないであげると良いのでは。
- ・生産管理や商品開発や人材育成という堅いイメージがあるが、HPの作成なども出来るということを知ると活用したい企業もあるのではないか。

5 傍聴人数

(1) 暮らし部会 0人

(2) しごと部会 0人

6 問い合わせ先

花巻市政策推進部企画調整課

電話番号：0198-24-2111（内線 211）